

基本指針の目標	施設入所者の地域生活への移行
---------	----------------

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和2年度末までの目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行者数の増加：16人 ・施設入所者数の削減：3人 <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <p>対象者の抽出、施設や家族の理解と協力が必要。対象者が地域生活のイメージができるような体験の話を聞ける場や相談を行うとともに、施設やグループホーム事業者に対して地域移行についての研修会や意見交換会を実施する。</p> <p>【実績の推移】</p>																		
	実績値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設入所者の削減</td> <td>2人</td> <td>-1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域生活移行者の増加</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>				実績	H30	R1	R2	施設入所者の削減	2人	-1人	1人	実績	H30	R1	R2	地域生活移行者の増加	2人	1人
実績	H30	R1	R2																	
施設入所者の削減	2人	-1人	1人																	
実績	H30	R1	R2																	
地域生活移行者の増加	2人	1人	0人																	
R2年度	評価 (C)	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●状況分析 新型コロナウイルスによる影響が大きいと考える。 ●今後の課題 対象者の抽出方法の検討。 																		
	改善 (A)	<p>【R3年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設への訪問等が新型コロナウイルス感染予防の観点から困難となっていることから、グループホーム事業者へのアンケートを実施し、希望事業所には地域移行についての研修会や意見交換会を実施。 																		

○主な活動指標の一覧		H30	R1	R2	
主な活動指標	訪問系サービス合計	見込	797人/月	868人/月	940人/月
		実績	1,030人/月	1,046人/月	1,040人/月
	生活介護	見込	485人/月	508人/月	531人/月
		実績	537人/月	573人/月	577人/月
	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	見込	56人/月	68人/月	81人/月
		実績	36人/月	32人/月	31人/月
	就労移行支援	見込	84人/月	99人/月	114人/月
		実績	59人/月	58人/月	61人/月
	就労継続支援（A型）	見込	70人/月	81人/月	92人/月
		実績	66人/月	72人/月	76人/月
	就労継続支援（B型）	見込	478人/月	518人/月	558人/月
		実績	517人/月	572人/月	606人/月
	短期入所	見込	81人/月	88人/月	95人/月
		実績	78人/月	82人/月	98人/月
	自立生活援助	見込	3人/月	3人/月	3人/月
		実績	2人/月	5人/月	5人/月
共同生活援助	見込	148人/月	155人/月	163人/月	
	実績	158人/月	177人/月	200人/月	
地域移行支援	見込	4人/月	4人/月	5人/月	
	実績	1人/月	2人/月	2人/月	
地域定着支援	見込	4人/月	4人/月	5人/月	
	実績	0人/月	0人/月	0人/月	
施設入所支援 ※減少を目指す	見込	149人/月	146人/月	145人/月	
	実績	141人/月	146人/月	143人/月	

基本指針の目標	福祉施設から一般就労への移行等
---------	-----------------

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和2年度末までの目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設からの一般就労への移行：22人 就労移行支援事業の利用者数：80人 就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合：5割 就労定着支援事業による支援開始一年後の職場定着率：8割 就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額：15,867円 <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工賃向上のため、市からの優先調達発注を進める。 <p>【実績の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉施設から一般就労への移行</td> <td>23人</td> <td>30人</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table>			実績	H30	R1	R2	福祉施設から一般就労への移行	23人	30人	41人
	実績	H30	R1	R2								
	福祉施設から一般就労への移行	23人	30人	41人								
	実績値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労移行支援事業の利用者数</td> <td>30人</td> <td>26人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table>			実績	H30	R1	R2	就労移行支援事業の利用者数	30人	26人	35人
	実績	H30	R1	R2								
	就労移行支援事業の利用者数	30人	26人	35人								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合</td> <td>2.5割</td> <td>3.3割</td> <td>5.0割</td> </tr> </tbody> </table>			実績	H30	R1	R2	就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合	2.5割	3.3割	5.0割
	実績	H30	R1	R2								
	就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合	2.5割	3.3割	5.0割								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労定着支援事業による支援開始一年後の職場定着率</td> <td>—</td> <td>10.0割</td> <td>10.0割</td> </tr> </tbody> </table>			実績	H30	R1	R2	就労定着支援事業による支援開始一年後の職場定着率	—	10.0割	10.0割
実績	H30	R1	R2									
就労定着支援事業による支援開始一年後の職場定着率	—	10.0割	10.0割									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額</td> <td>14,266円</td> <td>14,523円</td> <td>15,291円</td> </tr> </tbody> </table>			実績	H30	R1	R2	就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額	14,266円	14,523円	15,291円	
実績	H30	R1	R2									
就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額	14,266円	14,523円	15,291円									
	評価（C）	改善（A）										
R2年度	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●岸和田市内の事業者数が少ない ●テレワークでの利用ができるようになった。 <p>【新型コロナウイルスによる影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅でのサービス利用が増加した。 ●今後の課題 <p>テレワークでの利用が増加する傾向であるが、支援が十分にできるのか。</p> <p>優先調達をさらに進めるために、市組織内での啓発活動が必要である。</p>	<p>【R3年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●R2年度の自立支援協議会就労ワーキングにおいて行った企業組合2社の見学及びヒアリングを踏まえ、企業実習等を検討する。 										

主な活動指標	○主な活動指標の一覧				
			H30	R1	R2
	就労移行支援の利用者数	見込	84人/月	99人/月	114人/月
		実績	59人/月	58人/月	61人/月
	就労定着支援の利用者数	見込	1人/月	1人/月	1人/月
		実績	2人/月	8人/月	11人/月
	就労支援事業所等から一般就労への移行者数	見込	—上記目標値実績のとおり—		
		実績			

基本指針の目標		地域生活支援拠点等の整備	
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標	<p>【令和2年度末までの目標】</p> <p>地域生活支援拠点等を面的整備で実施する。</p> <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <p>24時間の相談体制、緊急時の受け入れが特に課題。</p>	
	主な 取組み 状況	<p>具体的な取り組み例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内入所施設における翌月の短期入所空き状況を把握し、相談支援事業所に毎月情報提供。 ・特定相談支援事業所及び委託相談支援事業所の相談支援専門員の協力のもと事前登録の対象となる方を抽出、関係機関の意見交換会の場で協議し、事前登録者のカルテを作成した。 ・市内の社会福祉法人に対し、24時間相談体制の整備に向けて実施協力依頼をし、協議を重ね、了承を得たため、令和2年度末に整備済みとなった。 	
R2年度	評価 (C)		改善 (A)
	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2社会福祉法人の受け入れ協力が得られたことが目標達成の大きな要因である。 【新型コロナウイルスによる影響】 ●大きな影響は特になし。 ●今後の課題 事前登録者の範囲を広げること。 		<p>【R3年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活支援拠点等整備部会において、運用状況の検証・検討を実施。

基本指針の目標		精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築										
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和2年度末までの目標値】 保健・医療・福祉関係者による協議の場：1箇所</p> <p>【目標達成に向けた考え方等】 精神障害者の地域移行部会を活用し、協議の場を行う</p> <p>【実績の推移】</p>										
	実績値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村ごとの協議の場</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> </tr> </tbody> </table>				実績	H30	R1	R2	市町村ごとの協議の場	1箇所	1箇所
実績	H30	R1	R2									
市町村ごとの協議の場	1箇所	1箇所	1箇所									
R2年度	評価 (C)	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2ヶ月ごとに部会を開催。 ●精神障害者が地域で暮らすうえでの課題について毎回テーマを変え協議した。課題は、「地域とのつながり」「就労」「住まい」「医療」「教育」の5つ。 <p>【新型コロナウイルスによる影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部会が4～5月休会となった。 <p>●今後の課題 協議の場において、引き続き保健・医療・福祉関係者による連携体制の強化を図り、精神障害のある人への支援体制の充実に努める。</p>										
	改善 (A)	<p>【R3年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケア部会において継続してテーマを挙げて課題について協議。 										